

平成 2 2 年度
交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 2 年度交通局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 2 年度交通局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3

1 平成22年度交通局予算要求総括表

【交通事業特別会計】

平成22年度要求総額 2,451,950千円
 (平成21年度予算額 2,407,830千円)
 前年度比 +44,120千円(+1.8%)

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 予算額 B	増 減 A - B
バス運行事業	2,227,940	2,335,495	107,555
バス車両購入 (更新)事業	134,980	0	134,980
バス車両定期 車体改修事業	25,600	25,650	50
企業債償還金 等	63,430	46,685	16,745

2 平成22年度交通局経営方針

交通局では平成18年度から22年度までの5カ年を計画期間とする「市営バス事業経営改善計画」に取り組んでいるところです。この計画では、中間年の平成20年度の決算において、経常収支及び単年度資金収支の黒字化という目標の達成後、以降の経営形態を判断し、次期5カ年計画を策定することとされています。

すでに、20年度決算において、この二つの経営数値の黒字化を達成し、これまでの検証と次期の計画策定に向け検討を行っているところです。現計画の最終年度である平成22年度は、現在実施している経営改善計画や、今後検討される次期計画に取り組むとともに、公営企業として、市民・利用者の皆様へのサービス向上を図ります。

(1) 安全運行の確保と利用者サービスの向上

課題

- ・安全、快適な運行のための車両更新

方針

- ・定期的な車体改修を継続するとともに、老朽化した車両の計画的な更新を再開し、快適運行の確保と車両事故・故障の未然防止に努めます。
- ・車両の更新にあたっては、お年寄りや障害者の方々をはじめとする交通弱者の方々の利用に配慮した「低床式」のバスや、環境問題に対応するため、「ハイブリッドバス」の購入に取り組みます。

(2) 独立採算制を堅持した健全経営の継続

課題

- ・バス利用者が減少するなかでの健全経営の継続

方針

- ・現在実施している経営改善計画に掲げた経費削減や増収・増客対策などの取り組みを引き続き行います。
- ・効率的な運行形態を目指し、利用者のニーズに応じた全面的なダイヤの改正に取り組みます。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 安全運行の確保

2・新規

バス車両の更新

134,980 千円

安全かつ快適な運行を確保するため、計画的な車両の更新を再開します。また、更新にあたっては、事業費の平準化や軽減化にも努めるとともに、交通バリアフリーに対応した低床式バスや環境問題に対応したハイブリッドバスの購入に取り組みます。

2・継続

バス運行サービスの向上

25,600 千円

・定期車体改修の継続

安全かつ快適な運行を確保し、事故・故障を未然に防止するため、部品等の破損に先立つ計画的な車両の改修に努めます。

・接遇研修・事故撲滅研修の充実

高齢化が進展する中で、高齢者や障害者の方々をはじめとする交通弱者の方々に安心・快適なご利用をしていただくため、バス乗務への事故防止や接遇向上を目的とした研修等を行い、ソフト面においてもより一層のバス運行サービスの向上に取り組みます。

・環境に優しい運行の推進

信号停止時や渋滞時におけるアイドリングストップ、転回地での待機時間におけるエンジンカットなど地球に優しいバスの運行を推進します。また、家庭から排出された廃食用油をリサイクルした『バイオディーゼル燃料』を一部の乗合バスに使用するなどの環境への取り組みを継続します。

2・継続

(2) 健全経営の継続

現在実施している経営改善計画に掲げた経営努力を継続するとともに、利用者のニーズに即したダイヤの見直し、新規路線の拡充に取り組み、効率的な運行体系による経費の削減や貸切バス事業・広告事業等の営業活動の強化など、一層の経営改善に取り組みます。